

6 学年保護者様

令和元年 10 月 29 日

玉城町立田丸小学校

平成 31 年度全国学力・学習状況調査について

去る 4 月 18 日に行いました全国学力・学習状況調査について、学校だよりでもお知らせしましたが、改めて 6 年生保護者の皆様に結果についてお知らせいたします。

学校でも、今後の指導に向けて改善事項を明らかにし取り組んでまいります。どうかご家庭でも参考にしていただき、お子様の学力の伸長につなげていただければ幸いです。

今年度は、国語・算数において三重県平均・全国平均を僅かに下回っていました。無回答率については問題により違いが大きく、記述で回答する問題では空欄が多くなっていました。また、児童質問の結果の中では、「読書が好きだ」と答えた児童の割合が少ないことや、「地域の行事に参加している」児童の割合が少ないことが気になりました。

(ア) 国語の結果から

(全国平均を 5 ポイント以上、上回っている)

- ・文中で漢字を使う問題 (友達にかぎらず) (1-四 (1) イ) 【資料 1】

(全国平均を 5 ポイント以上、下回っている)

- ・文中で漢字を使う問題 (かんしんをもってもらいたい) (1-四 (1) ウ)

【資料 1】

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題 (3-三) 【資料 2】

(イ) 算数の結果から

(全国平均を 5 ポイント以上、上回っている)

- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する問題 (2-(3))
- ・加法と乗法の混合した整数と少数の計算をする問題 (2-(4))
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する問題 (4-(3))

(全国平均を 5 ポイント以上、下回っている)

- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する問題 (1-(2))
- ・示された図形の面積のもとめ方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題 (1-(3))

- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを棒グラフから読み取って書く問題（2－（2））
- ・示された計算の仕方を解釈し、被除数と除数にかける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算する問題（3－（3））【資料3】
- ・示された除数の式の意味を理解しているかを問う問題（3－（4））【資料4】

〈今年度の結果から〉

今年度の結果から、国語・算数共に概ね平均回答率に近い結果となりましたが、各教科ともに記述問題についての課題がみられました。記述式の課題は、算数では、「求め方を説明する」「判断した理由を説明する」という問題で、国語では「目的や意図に応じて自分の考えの理由を書く」「話し手の意図を捉え、自分の考えをまとめる」問題でした。また、国語については記述のための条件が3点示されています。①資料から取り上げる内容についての条件 ②表現方法についての条件 ③字数についての条件 があります。そのため、この3つの条件を満たしていないと正解とはならないために、正答率が低くなっている課題もみられました。算数については、解答のための条件が設定されていないので、国語に比べて記述式の設問についての正答率が高くなっていました。

【資料1】

国語科の「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる。」問題については、文字により大きく正答率が分かれました。ウの「かんしん」について「かん」を「感」と書いている児童が多くいました。文や文章の中で使うとともに、前の学年までに習った漢字も含め、学習した漢字を漸次書き、文や文章の中で使っていくことが大切です。



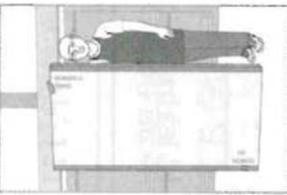
国語 3 地域で活躍する人を紹介する (畳職人へのインタビュー)

【資料 2】

3 岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた畳職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることになりました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

わが町の達人 ～第25回～
「部屋の床に畳をびたりとおさめる畳職人」



大谷さんの仕上げた畳

店主の大谷達彦さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくびたりとおさまる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずびたりとおさめることができる。

「私にとって、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

- ・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。
- ・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [] に「2 調査の区別と結果」の (1) と (2) で分かったことをまとめて書いています。 [] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお願ひします。

岸さん では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、置はとてもみりよくてきなものです」とおっしゃっていましたよね。どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の置について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した置は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 置を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとて不器用なので大変さはありませんでしたが、何とか親方のようになりたいと思いながら、修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしていいますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

今年度の国語では、各文章題に1問ずつ計3問、記述式の問題がありました。

	1	2	3
条件1	「2調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。	疑問に思ったことの②の答えになるように考えて書くこと。	【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
条件2	【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。	【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。	インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
条件3	書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。	四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。	書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

それらの問題について、記述のための条件が3つずつ設定されています。

それぞれの設問について、記述の条件は上記のようになっています。

1と2については、条件1が満たされていないための誤答が多く、3については、条件2が満たされていないための誤答が多く見られました。問題文の中から言葉や文を取り上げて書く場合、1の様には条件が複数あると、複数の条件を取り上げることができず、どちらかの条件を取り上げて解答している児童が多く見られました。これは複数の条件を満たさなければならないという設問の内容をしっかりと捉えられていなかったからではないかと思われます。問題文を丁寧に読み取り、内容を把握する力を養うことが必要だと思います。

また、「報告する文章にふさわしい表現」「インタビューとしてふさわしい言葉づかい」など表現の仕方については、いろいろなジャンルの読書経験や日常生活でのコミュニケーションの中での表現の違い、場に応じた表現を経験する中で、様々な表現方法を身に付けていくことが必要だと思います。子どもたちは大人をモデルとして、感覚を養い成長していきます。子どもたちにとって、手本となる言語環境を整えることが必要だと思います。

【資料 3】

【ことねさんの計算の仕方】

$$400 \div 25 = \square$$

$$\begin{array}{c} \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array}$$

変わらない

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。

$$90 \div 18 = \square$$

$$\begin{array}{c} \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array}$$

変わらない

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$600 \div 15 = \square$$

$$\begin{array}{c} \downarrow \textcircled{1} \quad \downarrow \textcircled{2} \\ \textcircled{1} \div \textcircled{2} = \textcircled{カ} \end{array}$$

変わらない

だから、 $600 \div 15$ の答えの \square は、 $\textcircled{キ}$ です。

上の①にあてはまるものを、下の□の中から1つ選び、また、上の②にあてはまるものを、下の□の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでもかまいません。

① $\square \times 2, \div 3, \div 5$ ② $\square \times 2, \div 3, \div 5$

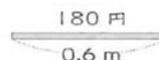
さらに、上の①、②、カ、キに入る数を書きましょう。

【資料 4】

(4) ゆいなさんは、下の問題について考えています。

問題

リボンを 0.6 m 買ったときの代金が 180 円でした。



このリボン 1 m 分の代金は、いくらですか。

1 m 分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。
ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

$$180 \div 0.6 = \square$$

$$\begin{array}{c} \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 1800 \div 6 = 300 \end{array}$$

変わらない

だから、 $180 \div 0.6$ の答えの \square は、300です。

$1800 \div 6$ は、何 m 分の代金を求めている式といえますか。
下の あ から え までの中から1つ選んで、その記号を書きしょう。

- あ 0.6 m 分の代金
- い 1 m 分の代金
- う 6 m 分の代金
- え 10 m 分の代金

【資料3】【資料4】は、「計算の仕方の解釈と発展的な考察（計算の工夫）」の設問です。

計算をする時には、その計算が確実にできるとともに、計算を効率的にするために工夫することができるのが大切です。工夫するためには、数を多面的にみることで、計算に関して成り立つ性質を活用することが必要です。

そのために、例えば、数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見い出したり、数や場面を変えても計算に関して成り立つ性質を活用できるかどうかを考察したりすることができるようにすることが大切です。さらに、計算が簡単になるなどのよきに気づき、生活や学習に活用しようとするようにすることも大切です。

そこで、この課題では、示された減法や除法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈して適用したり、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて表現したりします。また、代金を求める場面において、式の意味を解釈する課題もあります。

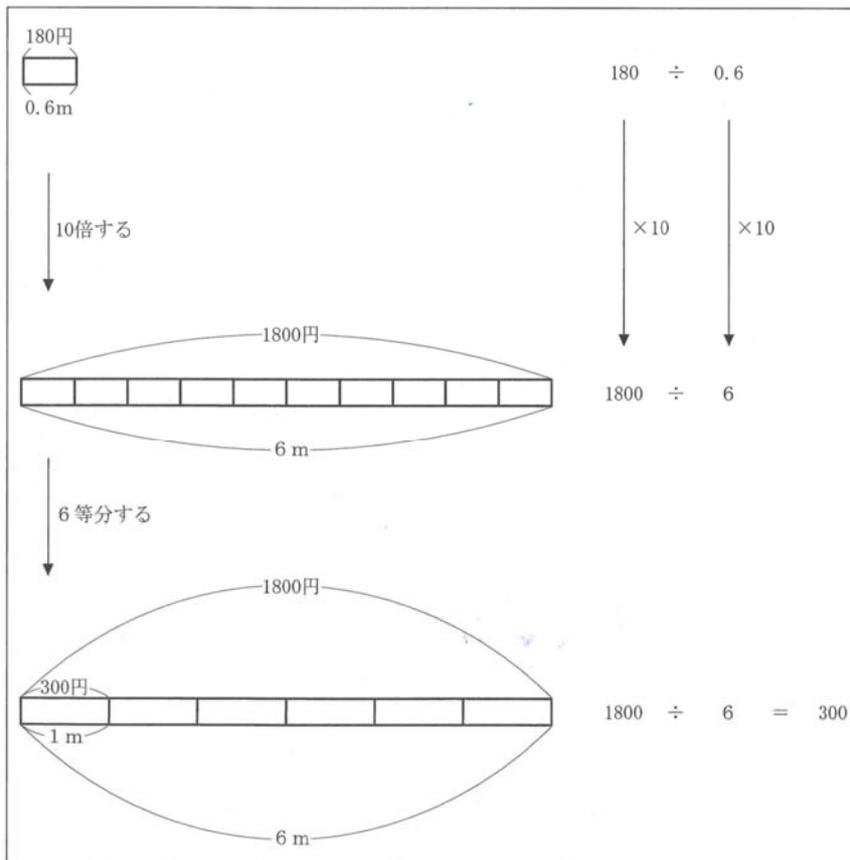
【資料3】については、「 $\times 2$ 、 $\div 3$ 、 $\div 5$ 」の中から、被除数と除数にかける数や被除数と除数を割る数を選び、被除数と除数に同じ数をかけることや被除数と除数を同じ数で割ることを捉えることはできているが、㊸と㊹を正しく求めることができず、 $600 \div 15$ を計算し、商が変わらないことから㊸と㊹はそれぞれ40という解答が多くありました。また、㊰と㊱に、「 $\times 2$ 、 $\div 3$ 、 $\div 5$ 」以外の値を入れている解答も多く見られ、問題文の理解が不十分のために答え方が違ったと思われます。ここでも、問題文をしっかりと丁寧に読むことの大切さが必要だと感じました。

【資料4】については、『示された除法の式の意味を理解しているかどうか』を問う設問で、「 $1800 \div 6$ 」は1m分の代金を求めているが、問題の被除数と除数を100倍した除数の6に着目して、6m分の代金を求めているとしたり、 $180 \div 0.6$ の式で1m分の代金を求めることができることから、被除数と除数を10倍した $1800 \div 6$ の式では、10m分の代金を求めているという解答が多くありました。小数の除法を整数の除法に直すときには、除法に関して成り立つ性質が用いられていることを確認します。 $180 \div 0.6$ と $1800 \div 6$ の式がそれぞれ何を求めている式といえるのかを、具体物や図、数直線などを用いて考えるなかで、 $180 \div 0.6$ が1m分の代金を求める式であることを確かめ、次に、 $180 \div 0.6$ の被除数と除数をそれぞれ10倍した $1800 \div 6$ について、〈図1〉のように0.6mで1800円のリボンの長さで代金をそれぞれ10倍した6mで1800円のリボンを考え、 $1800 \div 6$ が6mで1800円のリボンの1m分の代金を求めている式といえることを捉えるようにします。その上で、 $180 \div 0.6$ と $1800 \div 6$ のどちらもリボンの1m分の代金を求めている式といえることを理解します。このように、除法の式と具体的な場面とを関連付ける場を設定し学習することが大切です。

演算を決定し立式した後、答えを求めるための計算に関して成り立つ性質を活用して

計算を工夫すると、計算を能率的にすることができることがある。その時、必要に応じて、それぞれの式が何を表しているのかを振り返ることで、式の意味についての理解を深めることができる力を養っていくことが大切です。

〈図1〉



(ウ) 児童質問紙の結果から

(特によかったところ している・どちらかといえばしている 90%以上)

- ・学校のきまりを守っている
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・朝食を毎日食べる
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・国語の勉強は大切だと思う
- ・国語の授業の内容はよく分かる
- ・算数の勉強は大切だと思う
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- ・算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

(生活面で改善していきたいところ している/そう思う・どちらかといえばしている/そう思う の割合が全国平均より10ポイント以上下回る)

- ・今住んでいる地域の行事に参加している
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

(授業や学習面で改善したいところ)

- ・家で自分で計画を立てて勉強をする
- ・読書が好き
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる

(エ) 学校質問紙から

- ・授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができるように学習を充実していく。
- ・将来就きたい仕事や夢について考える機会を設けたり、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合ったりする学習指導を行っていく。
- ・小中学校9年間を見通した「めざす子ども像」のもと、教育課程の接続や教科に関する目標設定を行う。
- ・習熟度に応じた少人数指導や、地域の人材を招聘した授業を継続していく。